

アイオー信用金庫 第8回新現役マッチング交流会

令和2年9月24日
群馬県伊勢崎市



会場：伊勢崎市赤レンガ倉庫

写真出典：<https://www.city.isesaki.lg.jp/kanko/kanko/spot/7717.html>

コロナ禍の中、3密対策等 万全の配慮を行い、新現役交流会が9月24日(木)13時から開催されました。

会場は大正8年(1919年)に繭の保管庫として建設されたレンガ造りの倉庫です。その後、改修を行い平成29年に整備が完了し、市民の交流や地域活性化のための施設となったものです。

12企業の経営者、30名の新現役、信金の理事長、支店長、関係者、来賓が集り、新現役交流会が熱心に行われていました。総面談数は、32面談でした。

- ・コロナ禍で関東の新現役交流会は、中止/延期が相次ぐ中、アイオー信用金庫は、地元企業の開催要望と「三密」に対応し、見事な開催でした。
- ・具体的には、参加企業数を「例年20社のところ半数の12社」「新現役との面談数を3名(例年9名)」「広い会場確保＝伊勢崎市赤レンガ倉庫」「三密対策」等に対応しました。
 - *10社で予定するも、顧客から「どうしても出席したい」と「2社」の追加出席となりました。
 - 同金庫の普段からの顧客対応の素晴らしさが表れていました。
- ・企業数＝12社、新現役30名(エントリーは50名)が面談 総面談数は32面談
同金庫は過去7年間、高い民－民契約率を維持し「地元企業支援策として、同金庫の中心施策」としております。
- ・SKSから全体のアドバイザーとして代表理事/保田 邦雄が、運営サポートをおこないました。
- ・地元メディアは、群馬テレビ、上毛新聞などが熱心に取材を行い、記事と放映になりました。

参考【新型コロナウイルス感染症拡大への対応策】

1. 参加者全員マスクを着用
2. 十分なソーシャルディスタンスの確保、消毒液の用意、換気、アクリル遮蔽板等
3. 開催日当時、「健康状態申告書」により参加者全員の健康状態を確認
(非接触式電子温度計による体温測定)



面談の様子(1)



面談の様子(2)



SKS 代表理事 保田 留意事項の説明



20200925上毛新聞記

当日の新聞報道 次頁参照

提供: 上毛新聞

新現役と中小マッチング

伊勢崎でアイオー信金



新現役と企業を引き合わせた交流会

経営課題を抱える中小企業と経験豊富な大企業OBを結び付ける「新現役マッチング交流会」（アイオー信金庫主催）が24日、伊勢崎市境赤レンガ倉庫で開かれた。製造業や建設業など同金庫の取引先12社に対し、新現役30人が参加して得意

分野をアピールした。一般社団法人新現役交流会サポート代表理事の保田邦雄さんがアドバイザーを務めた。販路拡大や社内の体制整備、マーケティングといった各社の課題に対し、新現役が経験やノウハウを紹介した。2013年から開い

ており、8回目。新型コロナウイルス感染症防止のため、参加企業数を従来の20社から絞り、アクリルボードなどを設けて行った。企業の希望を踏まえ、次の面談を設ける。

提供：上毛新聞